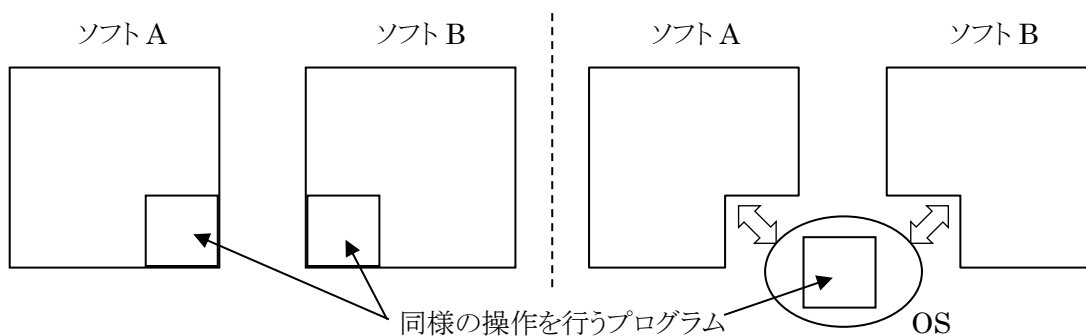


# 情報処理概論

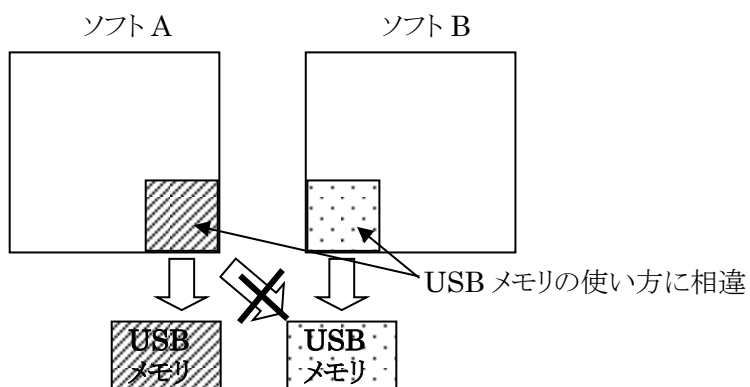
## OS(Operating System)の役割

- ・何故必要か
- ・何のためにあるのか
- ・何をしているのか

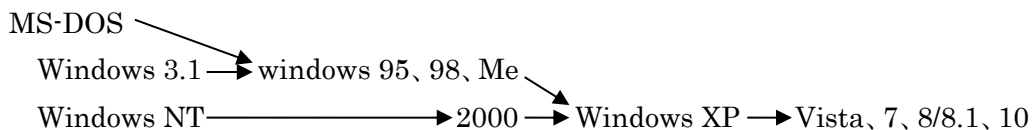
### 1. 共通部分をまとめる



### 2. 外部記憶装置等の使い方を統一

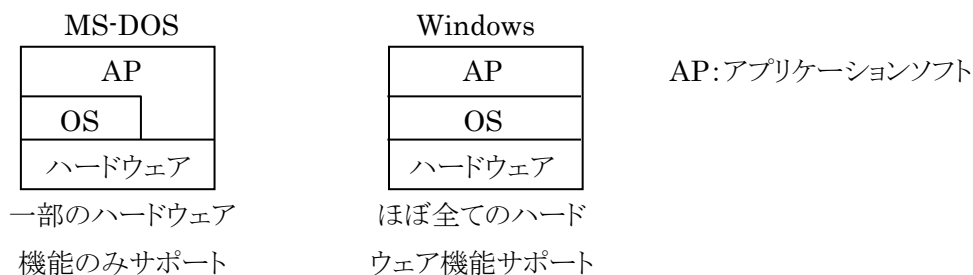


## Windows 系 OS の系譜



MS-DOS(Microsoft Disk Operating System): Windows95 や NT 以前の PC 用 OS  
 やっていたことは主に今まで述べた程度

Windows95 や NT 以降、更にいろいろなことが OS によって行われるように  
 以下ではこの違いを説明する(なお、以下で Windows と言えば、Windows 95 以降を指す)。



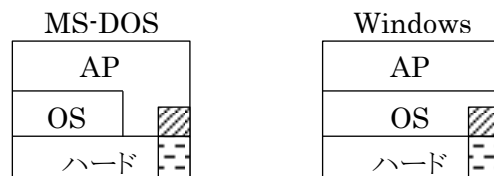
### 3. アプリケーションソフトと個々の周辺装置を独立

個々の周辺装置を操作するには、その周辺装置用のドライバと呼ばれるソフトが必要

例. プリンタにはプリンタ・ドライバが必要(メーカー毎、機種毎に異なる)

MS-DOS では周辺装置を AP(アプリケーションソフト)が直接制御(ドライバは AP が持つ)

問題点: 細かい制御、新しい製品への対応



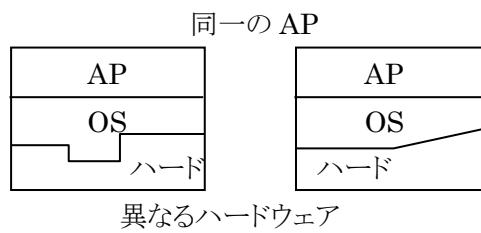
Windows では OS が周辺装置を制御(ドライバは OS が持つ) → AP と周辺装置は独立

周辺装置メーカーが OS ごとのドライバを提供

→ 細かい制御、新しい OS への対応、最新のドライバの配布

#### 4. アプリケーションソフトをパソコンそのもののハードから独立

ハードウェアの相違を OS が吸収



#### 5. 複数ソフトの同時利用を可能に

MS-DOS では、一時に一つの AP だけ

Windows では OS が資源(CPU、メモリ等)を管理・配分

→ 同時に複数の AP の利用が可能に (OS が作られた最初の目的)

#### 6. AP の開発期間、コストの削減

その OS 用のアプリケーションソフト開発ツールが存在⇒ 携帯電話や家電等でも OS が存在

ユーザ側から見た場合も、操作法などが統一され便利に

**特別レポート****提出期限 10月16日(月) 14:00**

自習用テキストの第6章 Microsoft Power Point を自習し、そこで PP 練習 として保存したファイルを学務情報システムより提出せよ。

このレポートは、2学期にも引き続き情報処理概論(A) IIを聴講する学生を対象とし、このレポートの結果は、2学期の成績に反映させる(2学期から新たにこれらの講義を聴講する学生には別途レポートを課す)。